

市会議案第7号

大阪府民の医療を守る意見書

上記の議案を提出する。

令和3年3月23日提出

吹田市議会議員 山根 建人

同 玉井美樹子

同 益田 洋平

同 柿原 真生

同 塩見みゆき

同 竹村 博之

大阪府民の医療を守る意見書（案）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、医療提供体制を強化することが求められている中で、その感染症の患者の受け入れを担う医療機関の役割は、ますます重要なものとなっている。

本市に所在する済生会千里病院においては、三次救急の指定を受けて、救急医療や災害拠点の病院としての役割を担っているが、大阪府は、2011年（平成23年）4月、同病院の千里救命救急センターに対する年間3億5,000万円の補助金を廃止した。また、現在、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れも加わり、同病院は医療従事者への賃下げや一時金の大幅な削減を行うほど経営状況が悪化している。

大阪府は、この間、救命救急事業からの撤退や補助金の削減を実施しているが、このまま同病院に補助金を支給せず、医療提供体制に責任を持たなければ、救命救急センターはもとより、病院の運営までもが困難になることは明らかであり、周辺地域での救急医療が弱体化するおそれもある。本来、三次救急の医療提供体制は、大阪府が確保すべきものである。

よって、本市議会は大阪府に対し、豊能二次医療圏の救急医療や地域医療の充実のため、下記の事項を要望する。

記

- 1 大阪府医療計画に基づき、大阪府は三次救急の医療提供体制の確保に責任を持つこと。
- 2 豊能二次医療圏の医師・看護師を確保するための具体的な対策を講じること。
- 3 豊能二次医療圏の救命救急・災害・感染症対応の充実を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

吹 田 市 議 会